



# ナルク宮城 「けやきの会」会報

ニッポン・アクティブ・ライフ・クラブ  
発行元 ナルク宮城会報誌編集委員会  
代表 梅津健次  
〒980-0871  
宮城県仙台市青葉区八幡1-4-25  
☎・FAX (022) 765-8727  
E-mail nalc-miyagi@ab.auone-net.jp  
http://nalc-miyagi.jimdo.com/

## 能登半島被災者への支援/ナルクには難題 高齢者では助け合いに限界

定時総会のお知らせ【ナルク宮城】  
☆6月22日(土曜日)AM11時～  
☆会場 宮城野区文化センター

『能登半島地震の被災地の今』「地震から2ヶ月以上たった今も、倒壊したまま手付かずとなっている建物が多くある。この要因は、作業員やボランティアなどの宿泊場所が不足し、活動時間が制限されているため、これが大きな課題となっている」こうした報道が連日なされています。

この復旧・復興を進めるためには、自治体の応援職員や作業員・ボランティアなど、多くの人手が欠かせないが、今回の地震では各地で道路が寸断されたため、しばらく被災地にたどり着くこともままならない事情もあったとのことでした。また被災地では、宿泊場所が不足し、作業が進まないもう一つの課題となっているとも報じられております。



『一般ボランティア活動を阻むもの』  
石川県奥能登地区の4市町村では、既に一般ボランティア活動は始動しているが、重機不足や断水の影響で宿泊拠点が確保できないと云った事情等も重なり、ボランティアの受入に制限があるという。これがため、住民ニーズに追いついていないのが現状のようです。

『ボランティア活動の内容』被災地では、炊き出しや食事の配膳、給水作業の手伝い、救援物資倉庫の管理、救援

写真「認定NPO法人グッドネーバース・ジャパン」より 物資の仕分け、被災家屋の片付け、積み込み作業など多岐にわたっているが、我々ナルクのように高齢者には(体力的に)無理な作業のようです。



『13年前の東日本大震災で「ナルク宮城」は何をしたか』震災後、「パラソル喫茶」を設営し、茶菓やハンドマッサージ、楽器演奏などをして被災した方の傾聴と集い場作りなど、コミュニティー作りを展開しました。なおこの活動は、大震災があった平成21年7月から約5年半、約210回(一箇所平均「20名程度」の参加を得て)に亘り実施しましたが、その際、全国(他の拠点)からナルクの仲間が応援に駆けつけ、被災者の支援に当たりました。

更に震災から7年経ったその年の4月27日には、仙台市宮城野区蒲生鍋沼岡田会館で、「マグロの解体ショー」を開催、そこにバラバラになった元仮設住宅住民約200人を招待し、親睦を通じ新たなコミュニティーづくりのお手伝いをしました。震災後、我々高齢者でもできることをパラソル喫茶で実証しました。なおこの度の能登地震復興支援はやや遠いので、寄付(義援金)で済ませました。



## 《会計監査員》瀬川敬二氏から中塚亜樹氏に期中交代

写真

【中塚亜樹氏】

当ナルク宮城拠点には現在 2 名の会計監査員がおられますが、お一方は内部組織から「山田泰子氏」が、もうひとつ方は外部組織(東北電力労働組合本部)から「瀬川敬二氏」をお招きしております。二名中一名の方を「外部から」としているのは、会計の適切なチェック体制確保の観点からで、ナルク宮城拠点創設以来取り組んで来ております。この度、瀬川敬二氏が東北電力労働組合本部の常任執行員を退任され職場復帰となりましたので、その後任者としてこの度「中塚亜樹様」に就任いただくこととなりました。中塚亜樹氏は前任者の瀬川敬二氏同様、東北電力労働組合本部常任執行員で、現在組織局に所属し「本部組織局部長」としてご活躍されている方です。



### 淡泊な旨さを求めて

鈴木幹雄さん

山の峠道にまだ雪が残る 3 月中頃、山形そば街道の入り口とも言える村山市の「あらきそば」に淡泊な旨さを求めてぶらりと行って見た。

知る人ぞ知るこの「あらきそば」2015 年 12 月、フランス外務省が発表した世界各国の飲食店 1000 店のランキングリスト「ラ、リスト」に世界第 319 位で、東北地方唯一ランキングされていて、日本人のみならず外国からもわざわざ食べに訪れるとのこと。この店は、蕎麦を紹介する書籍には必ず掲載されている。まず、その建物は、江戸時代後期に建てられた茅葺屋根で、時代劇のセットのような建物、土間の玄関から中に入ると、8 帖、6 帖等の座敷のフスマを取り払い、24 帖の大広間となっている。柱も鴨居も竿縁天井も皆ススケで、時代を感じられる。大正 9 年(1920 年)創業とあるので、100 年以上続いていることになるが、建物自体はそれ以前のものと思われる。室内には幾つか並べられている一つの長テーブルの前に座り、早速メニューを見ると、うす毛利(もりそばのシャレか)の文字が目に入る。これは板箱状の入れ物に乗せた「盛りそば」のこと。そばは田舎そばらしく太打ち、つなぎは一切入らない 10 割そばのことで、堅めな茹で方をしている。私は量が多くて食べ切れそうもなかったので半分の量で注文、それでも残ってしまった。他の客は皆ペロリ平らげていた。

いつも思うことだが、そばはラーメンと違い味は誠に淡泊そのもの、歳を取るとやはり、この淡泊な旨さも又、良いものだと思いつく思いながら帰途についた。



## 今年も手作り料理で新年会

令和 6 年、ナルク宮城の新年会は 1 月 29 日 (月) 午前 9 時半から、仙台市福祉プラザに会員 23 名の参加の下開催しました。

今年も手作り料理を囲み、終日、楽しい一日を過ごしました



### 【事務局よりお知らせ】

ナルク宮城の定期総会  
6 月 22 日 (土) 11 時～  
宮城野区文化センターで開催します。

※詳細は、別途ご案内します。

【編集後記】ナルク宮城拠点にとって今年、創設から 25 周年となる。無償ボランティアを標榜しながら、よくここまで持ったものだ。「継続は力なり」というが、苦しみは、まだまだ続くのであろうか。(梅津 記)

## 賛助会員 (敬称略、順不同)

- ▶ 東北電力労働組合
- ▶ ユアテックユニオン
- ▶ 東北発電工業労働組合